

総務常任委員会 視察研修報告

文教厚生常任委員会 視察研修報告

(期間)

平成24年10月23日～25日

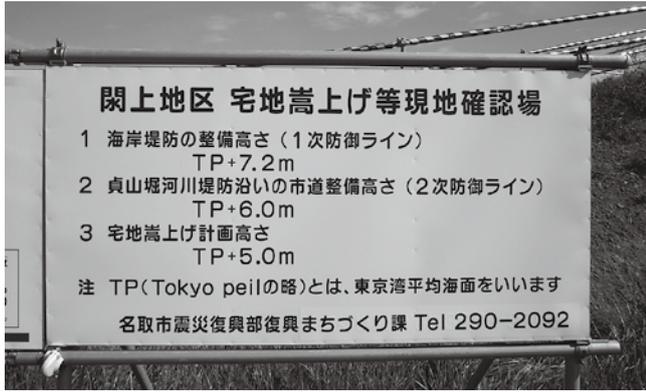
(目的地及び視察地)

○東日本大震災の被害と復興状況について
(宮城県名取市)

○ごみ焼却施設について
(宮城県七ヶ浜町)

宮城県名取市は人口約7万2千人の市で23年3月11日の大震災により死者、行方不明者が900人を超え約5,100人が現在でも仮設住宅で生活をよぎなくされている。

その中で被害の最も大きかった閑上地区は、流失家屋や損害家屋が散乱し今後



▲名取市閑上地区を視察

の再建方針や復興のまちづくりの進め方について現地での説明を受けた。

七ヶ浜町の宮城東部衛生処理組合での研修では、昭和40年7月にし尿に関する事務を共同処理するため3町が設立し、43年から消化処理方式によるし尿処理業務、46年から機械化パッチ方式による焼却業務を開始、そ

の後都市化の進行に伴う人口増加によるごみの増加、質の多様化に伴い全

連続方式炉を増設。リサイクル事業については昭和58年から、ペットボトル及び私製容器の分別収集は平成10年から、プラスチック製容器包装の分別収集は平成16年から実施しているとのことであった。

(期間)

11月14日～16日

(目的及び視察先)

①公立松任石川中央病院
経営形態の見直しの経緯
(石川県白山市)

②義務教育における学力体向上の取り組み
(福井県教育庁)

③国保加入者への特定健康診査・特定保健指導
(福井県福井市)

①公立松任石川中央病院
平成20年地方公営企業法を全部適用。事業管理者が人事、経営面で権限と責任を持つ。病床利用率22年度で95・9%。収益合計に対する職員給与費43・1%。平成5年総合健診センターを開設し各種健診、人間ドッグ、運動指導室等備え、早期発見、早期治療の徹底。職員数を減らさず患者や受診者へのサービスを徹底。

②福井県の学力向上対策

昭和26年より継続して独自の学力調査を実施。現場の教員による作問、分析によりその後の指導に活かしていく。共働き率全国1位、女性の就業率全国2位、三世代同居のなか、当たり前に「毎日の宿題、毎日の運動、先生への信頼」の実践。昭和38年から小4以上及び中、高すべての児童生徒に運動能力テストを実施。これらの継続と検証、対策を県がしっかりと支援。

③福井市の特定健康診査率向上の取り組み
・受診向上キャンペーンで受診者



▲公立松任石川中央病院での研修

に当選商品
・特定保健指導の未受診者へ指導体制の強化(保健師2名↓20名へ)
・「受診するつもり」受診する予定」の未受診者への積極的な勧奨